

「つや姫」栽培管理情報 第4号



～1.9mm選別ふるい目に対応した米づくりの実践～

平成30年8月16日



‘半端ない’暑さで登熟が早まる

適期収穫と丁寧な乾燥・調製により本年産米の総仕上げ

「つや姫」マイスターの各ほ場では、7月21～8月7日にかけて出穂期となりました。生育状況は概ね順調であり、目立った病害虫の発生もありません。

お盆になっても高温傾向は続き、出穂期以降の積算気温は平年を上回っています。そのため、登熟は早まり、最も生育の早いほ場では8月23日に成熟期を迎えると予想されます。

〔今後の栽培管理及び作業のポイント〕

□適切な水管理

- ・登熟期間における早期落水は、減収や白未熟粒の発生を助長するので、出穂後25日頃まで間断かん水を継続する
- ・田面が柔らかいほ場では、飽水・保水管理（土壌表面に水がなくても、足跡に水がたまっている状態）、または、土壌を踏むと湿り気がある程度とし、収穫に向けて地耐力の向上を図る
- ・落水以降でも、過度に乾く時（田面が白乾）は、走り水かん水を行う

□適期収穫

- ・収穫時期は、積算温度（別紙）を参考とし、青味籾率が10～15%になった時を適期とする。葉が青くても適期に達している時があるので注意する

□丁寧な乾燥・調製

- ・急激な乾燥は、胴割粒の発生を助長するので注意する
- ・ライスグレーダー（1.9mm選別ふるい目）や色彩選別機により、丁寧に調製する

トピックス

島根県における「1.9mm選別ふるい目」の普及率は、昨年西日本第1位に躍進しました（農水省「平成29年産水稻作標本筆農家からの聞き取り調査」、農家数割合より）。

これまでの「つや姫」実証ほでは、「1.9mm選別ふるい目」を利用した場合、乳白粒等白未熟粒の選別による品質向上効果に加え、高い歩留まり率であることを確認しています。

表 1.9mm選別ふるい目の普及率（西日本BEST5）

	都道府県名	普及率%
1	島根県	61.3
2	滋賀県	59.6
3	佐賀県	47.9
4	山口県	17.6
5	兵庫県	12.2